Kanso® 用 CR210 リモートコントロール

取扱説明書

CP950

Hear now. And always

Cochlear®

Cochlear™ Nucleus® (コクレア・ニュークレアス) CR210 リモートコントロールは、Cochlear Kanso® (コクレア・カンソ) サウンドプロセッサ (モデル番号 :CP950) でよく使う機能を手元で操作するための携帯型機器です。

リモートコントロールでは、以下の操作が可能です。

- プログラムの変更
- 音量 / 感度の調整 (対応する場合)
- True Wireless™ (トゥルーワイヤレス) アクセサリの起動 / 停止
- テレコイルの起動 / 停止

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合は、リモートコントロールで、一度に両方のサウンドプロセッサと通信できます (互換性がある場合)。

本書は、Kanso サウンドプロセッサを使用する Cochlear 人口内耳装用者およびその介助者を対象としています。サウンドプロセッサの詳細については、『*Kanso サウンドプロセッサ取扱説明書*』を参照してください。

アドバイス
- リモートコントロールと電池を使用する際の安全に関する注意事項については、「警告」および「注意」のセクションを参照してください。
- Cochlear 人口内耳システムに該当する基本的なアドバイスについては、『*警告と予防措置の手引き*』も参照してください。

本書で使用する記号

	アドバイス 重要な情報またはアドバイスです。
	ヒント 効率的にお使いいただくためのヒントです。
	注意 安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。機器が破損する恐れがあります。
	警告 安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。人体に有害となる恐れがあります。

CR210 リモートコントロール

リモートコントロール上のその他の表示

目次

電源

電池 4
電池の交換 4

使用する

電源を入れる 6
電源を切る 7
通信範囲外 7
ペア設定 8
プログラムの変更 10
音量/感度の調整 11
ワイヤレスアクセサリ 12
テレコイル 13

お手入れ

清掃 14
リモートコントロールが濡れた場合 . . 14

トラブルシューティング

. 16

警告

. 18

その他の情報

. 20

電池

電池残量低下マークが表示されている場合、またはリモートコントロールの電源を入れようとしてもディスプレイに何も表示されない場合は、電池を交換します。電池は最大 3 か月持ちます (リモートコントロールを 1 日に約 15 回使用した場合)。

電池の交換

1. 小型のプラス (十字) ドライバでネジを反時計回りに回してゆるめ、電池カバーを取り外せる状態にします。

2. 電池カバーをスライドさせて外し、電池を取り出します。

3. 新しい電池を入れます。プラス記号 (+) の面が上になるようにします。電池端子が損傷しないように注意してください。

注意

リモートコントロールには、必ず CR2032 または 5004LC 3V の使い捨てコイン型リチウム電池を使用してください。

コイン充電池や他の種類の電池は絶対に使用しないでください。

4. 電池カバーの下端を差し込み、カバーを閉じます。

5. 小型のプラスドライバでネジを時計回りに回してしっかりと締め、電池カバーを固定します。

電源を入れる

スイッチを上へスライドさせて電源を入れます。

スイッチが上の位置にある時に、リモートコントロールをしばらく操作しないとスリープ状態になります。いずれかのボタンを押すと、スリープ状態から復帰します。

電源を切る

スイッチを下へスライドさせて電源を切ります。

ヒント

ポケットに入れて持ち運ぶ時など、操作しない時にリモートコントロールがスリープ状態から復帰しないようにするには、電源を切ってください。

通信範囲外

サウンドプロセッサが通信範囲外にあるか、電磁波干渉を受けている場合、リモートコントロールに線が表示されます (左図を参照)。

ペア設定

ペア設定を行うと、2 つの機器間の通信ができるようになります。病院の先生がリモートコントロールとサウンドプロセッサをすでにペア設定している場合もあります。設定していない場合は、リモートコントロールを初めて使用する時にペア設定する必要があります。

リモートコントロールがどのサウンドプロセッサともペア設定されていない場合、リモートコントロールのディスプレイには線が表示され (左図を参照)、いずれかのボタンを押すと点滅します。

サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する

1. サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源を入れます。スリープ状態になっている場合は、スリープ状態を解除してください。

2. サウンドプロセッサをリモートコントロールの裏面に当てます。

3. リモートコントロールに、ペア設定進行中の表示が出ます。

4. リモートコントロールに、左側 (L) または右側 (R) のサウンドプロセッサと正常にペア設定されたことが表示されます。

5. サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合は、2 台目のサウンドプロセッサに対しても 2 ～ 4 の手順を繰り返します。

プログラムの変更

病院の先生はサウンドプロセッサに最大 4 つのプログラムを設定でき、装用者はリモートコントロールでプログラムを選択できます。

2 台のサウンドプロセッサを調整する

リモートコントロールでは、2 台のサウンドプロセッサを同時に調整できます。

アドバイス

両側のサウンドプロセッサが CR210 リモートコントロールに対応している場合のみ実行可能です。病院の先生にご確認ください。

2 台のサウンドプロセッサの設定がそれぞれ異なっている場合 (片方をサウンドプロセッサ本体のボタンで調整した場合など)、リモートコントロールには、左側のサウンドプロセッサのプログラムと音量 / 感度設定が表示されます。どちらかのサウンドプロセッサでテレコイルまたはアクセサリが起動している場合は、それを示すアイコンがリモートコントロールに表示されます。

音量 / 感度の調整

通常、病院の先生は、音量が調整できるようにリモートコントロールを設定します。感度を調整できるように設定してもらうこともできます (対応する場合)。音量は、聞こえる音の大きさです。感度は、小さな音、背景音、近くや遠くの音など、聞こえる音の範囲です。最大 10 の音量レベルまたは 21 の感度レベルから選択できます。

注意

音量を頻繁に調整しなくてはならない場合や、音量を調整すると聴きづらくなる場合には、病院の先生に相談してください。

現在の設定を表示する

リモートコントロールの電源を入れると、現在の設定 (音量など) が表示されます。リモートコントロールの電源を切っている間にサウンドプロセッサ本体のボタンまたはリモートアシスタントを使って設定を変更していた場合でも、その変更が反映されます。

ワイヤレスアクセサリ

Cochlear True Wireless™ アクセサリをサウンドプロセッサとともに使用すると、リモートコントロールでワイヤレスアクセサリをコントロールし、ステータスをモニタリングできます。

アドバイス

音声をストリーミングする前に、ワイヤレスアクセサリをサウンドプロセッサとペア設定する必要があります。詳しくは、『*True Wireless アクセサリ取扱説明書*』を参照してください。

ミニマイクロホンまたはテレビストリーマーを使用する

1. 音声のストリーミングを開始するには、テレコイルボタンを長押しします。

   アクセサリアイコンが表示されます。

ヒント

テレコイルボタンをもう一度長押しすると、ペア設定された次のワイヤレスアクセサリを選択できます。

2. 音声のストリーミングを停止するには、テレコイルボタンを短く押します。

   アクセサリアイコンが消えます。

アドバイス

フォーン クリップのコントロールを使用すると、電話の発信や応答ができます。

テレコイル

手動によるテレコイルを使用して磁気ループからの音やテレコイル対応電話の声を聴くためには、病院の先生にサウンドプロセッサを設定してもらう必要があります。

テレコイルをワイヤレスアクセサリと同時に使用することはできません。

アドバイス

Cochlear Wireless Phone Clip (フォーン クリップ) を使用して電話を発信することをお勧めします。『*True Wireless アクセサリ取扱説明書*』を参照してください。

テレコイルを起動する (設定されている場合)

1. テレコイルボタンを 1 回短く押します。

   テレコイルアイコンが表示されます。

テレコイルを停止する

1. テレコイルボタンを 1 回短く押します。

   テレコイルアイコンが消えます。

清掃

リモートコントロールは清潔に保ち、濡れないようにしてください。

リモートコントロールのディスプレイと操作ボタンは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

リモートコントロールが濡れた場合

1. 乾いた柔らかい布でリモートコントロールを拭き取ります。

2. 電池を取り外します。

4 ページの「*電池の交換*」を参照してください。

3. 暖かく、風通しの良い場所 (子どもの手が届かず、直射日光が当たらない場所) にリモートコントロールを置き、約 12 時間乾かします。

注意

リモートコントロールを乾かす際は、乾燥用のキットや家庭用電気機器 (ドライヤーなど) を使用しないでください。

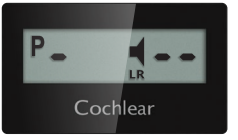
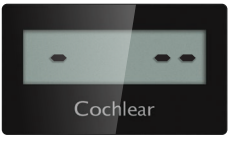
4. 新しい電池を入れます。

4 ページの「*電池の交換*」を参照してください。

アドバイス

電池を交換する前に、リモートコントロールに水分が残っていないか確認します。残っている場合は、乾いた柔らかい布で、もう一度拭きます。

トラブルシューティング

問題	解決策
リモートコントロールで、プログラムの変更や、音量 / 感度の調整ができない 	• 2 台のサウンドプロセッサをお使いの場合は、両方のサウンドプロセッサの電源が入っていることを確認します。 • リモートコントロールをサウンドプロセッサに近づけます。 • リモートコントロールを、金属性のもの (鍵など) や、干渉を引き起こす可能性があるもの (携帯電話、Bluetooth および Wi-Fi 対応機器など) から遠ざけます。
リモートコントロールに、線しか表示されない 	• リモートコントロールとサウンドプロセッサをペア設定します。8 ページの「*サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する*」を参照してください。
リモートコントロールに、ペア設定エラーが表示される 	• 病院の先生にご連絡ください。
リモートコントロールの電源が入らない、またはスリープ状態が解除されない (ディスプレイに何も表示されない) 	• 電池を交換します。4 ページの「*電池の交換*」を参照してください。

問題	解決策
サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定できない	• サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源が入っていて、スリープ状態から復帰していることを確認します。 • リモートコントロールのペア設定が完了するまで、送信コイルをコイルマークに当てたままにします。 • 病院の先生にご連絡ください。
テレコイルボタンを押しても、テレコイルが起動しない	• ワイヤレスアクセサリからいずれかのサウンドプロセッサに、音声がストリーミングされていないことを確認します。 • サウンドプロセッサのテレコイル機能が有効になっていることを、病院の先生にご確認ください。
テレコイルボタンを押しても、テレコイルが停止しない	• リモートコントロールのどのボタンも押さずに 5 秒以上待ってから、テレコイルボタンを 1 回押します。
テレコイルボタンを押しても、ワイヤレスアクセサリが起動 / 停止しない	• ワイヤレスアクセサリがサウンドプロセッサにペア設定されていることを確認します。 • ワイヤレスアクセサリがオンになっていることを確認します。

警告

- リモートコントロールがいつもよりも熱くなっている場合は、使用しないでください。すぐに病院の先生に知らせてください。
- コイン型電池などの小さな部品は、窒息を引き起こす危険性があります。常に、電池カバーが外れないようにしてください。電池の交換は、子どもの手が届かない場所で行ってください。幼児には、電池を交換させないでください。
- この機器の改造は許可されていません。
- リモートコントロールの表面を拭く場合は、必ず乾いた柔らかい布を使用してください。
- リモートコントロールのお手入れに、アルコール、家庭用の洗剤または研磨剤を使用しないでください。
- リモートコントロールのディスプレイを曲げたり、強く押したりしないでください。
- リモートコントロールは濡らさないでください。

- リモートコントロールを分解、改造したり、変形させたり、水に浸したりしないでください。リモートコントロールが正常に機能しない場合は、病院の先生にご相談ください。分解した場合、保証は無効になります。
- 湿気や埃が多い場所では、リモートコントロールを保護してください。
- ディスプレイを傷つける恐れのあるものから、ディスプレイを保護してください。
- リモートコントロールの電源が入っている時は、金属性のものをディスプレイに近づけないでください。干渉を引き起こす恐れがあります。
- リモートコントロールを体内 (口の中など) に入れないでください。
- リモートコントロールは、幼児の手が届かない場所に置いてください。
- リチウム電池を飲み込むと、重大な傷害または死亡につながる恐れがあります。飲み込んだ場合は、直ちに緊急治療を受けてください。お子様の手が届かない場所に保管してください。使用準備が整うまで、元のパッケージに入れて保管してください。使用済みの電池は直ちに廃棄してください。

その他の情報

物理構成

リモートコントロールは以下で構成されます。

- アナログおよびデジタル集積回路 : マイクロプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えています。
- ユニット操作用のスイッチとボタン
- サウンドプロセッサのリモートコントロール用ボタン
- ディスプレイ : システムの状態と動作が表示されます。
- 内蔵コイルセンサ
- ストラップ取り付け部

材質

リモートコントロールの筐体とボタンは、ポリカーボネートおよびアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン (ABS 樹脂) 製です。ディスプレイは ABS 樹脂製です。

ワイヤレス通信接続

リモートコントロールのワイヤレス通信接続は、GFSK (ガウス型周波数偏移変調) を 5 個のチャンネルで用いて、2.4 GHz ISM 帯域で行います。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作できます。干渉が発生した場合、ワイヤレス通信は 5 チャンネルの中で、最も干渉の影響が低いものに切り替わります。サウンドプロセッサが操作範囲内にない場合や、干渉によって通信接続が妨害された場合には、リモートコントロールのディスプレイに表示されます (7 ページを参照)。

寸法

構成部品	長さ	幅	厚さ
CR210 リモートコントロール	66.0 mm	36.5 mm	10.6 mm

重量

構成部品	重量
CR210 リモートコントロール (電池を含む)	35g

動作特性

特性	値/範囲
ワイヤレス技術	専用の低電力双方向ワイヤレス接続
無線周波数	2.4 GHz
電池の種類	CR2032 または 5004LC の使い捨てコイン型リチウム電池 1 個
電池の動作時電圧	2.12 ～ 3.00 V
ボタンとスイッチの機能	ワイヤレスアクセサリ / テレコイルの起動と停止、プログラムの調整、音量 / 感度設定の調整
ワイヤレス通信の範囲	最大 2 メートル
ディスプレイ	アイコン表示モノクロ特別仕様 LCD

環境条件

条件	最小値	最大値
保管および輸送時の温度	-10°C (14°F)	+55°C (+131°F)
保管および輸送時の湿度	0% RH	90% RH
動作時の温度	+5°C (+41°F)	+40°C (+104°F)
動作時の相対湿度	0% RH	90% RH
動作時の気圧	700 hPa	1060 hPa

機器の分類

リモートコントロールは、国際規格 IEC 60601-1:2012「Medical Electrical Equipment – Part 1:General Requirements for Basic Safety and Essential Performance (医療電気機器 - パート 1: 基本的な安全および基本重要性能に関する一般要件)」に記載されている、内部電源機器タイプ B 適用部品です。

日本での無線規定遵守

本機器は、**電波法**および**電気通信事業法**に基づいて認証されています。

本機器を改造してはいけません (改造した場合は技術基準適合証明番号が無効になります)。

R
202
LSB003

環境保護

リモートコントロールには、電気 / 電子機器の廃棄に関する EC 指令 2002/96/EC の対象である電子部品が含まれています。

環境を保護するために、分別していない家庭ごみと一緒にリモートコントロールまたは電池を廃棄しないでください。リモートコントロールと電池は、各地域の規制に従ってリサイクルしてください。

表示記号

サウンドプロセッサおよびリモートの各構成部品およびパッケージには、以下の記号が表示されていることがあります。

	取扱説明書を参照
	本機器に関する特定の警告または使用上の注意 (ラベルには表示されていません)
	製造業者
EC REP	欧州共同体における正式代表者
REF	カタログ番号
SN	シリアル番号
LOT	バッチコード
	製造年月日
	温度制限
CE 0123	公認認証機関番号が付いた CE 登録マーク

	オーストラリアおよびニュージーランドでの無線規格適合証明
R 202 LSB003	日本での無線規格適合証明 (技適マーク)
KCC-CRM-COH-CR210	韓国での無線規格適合証明
Rx Only	医家向け
	リサイクル可能な材料
	電気部品は各地域の規制に従って処分してください
	水に濡らさないでください

法的ステートメント

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

本書は日本の添付文書を補足するものであり、添付文書の内容が優先されます。

© Cochlear Limited 2017

メモ

Hear now. And always

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
EC REP **Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG** Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany
Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770
Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA
Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025
Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada
Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083
Cochlear AG EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland
Tel: +41 61 205 8204 Fax: +41 61 205 8205
Cochlear Europe Ltd 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom
Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426
Cochlear Benelux NV Schaliënhoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium
Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70
Cochlear France S.A.S. 135 Route de Saint-Simon, 31035 Toulouse, France
Tel: +33 5 34 63 85 85 (International) or 0805 200 016 (National) Fax: +33 5 34 63 85 80
Cochlear Italia S.r.l. Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy
Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62
Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden
Tel +46 31 335 14 61 Fax +46 31 335 14 60
Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.
Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey
Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919
Cochlear (HK) Limited Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR
Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183
Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon Building 33, Teheran-ro 8 gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea
Tel: +82 2 533 4450 Fax: +82 2 533 8408
Cochlear Medical Device (Beijing) Co., Ltd
Unit 2208-2212, Tower B, Gemdale Building, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China
Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900
Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.
Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India
Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100
株式会社日本コクレア（Nihon Cochlear Co Ltd）〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル
Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245
Cochlear Middle East FZ-LLC
Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates
Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925
Cochlear Latinoamérica S.A.
International Business Park, Building 3835, Office 403, Panama Pacifico, Panama
Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218
Cochlear NZ Limited
Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand
Tel: + 64 9 914 1983 Fax: 0800 886 036

www.cochlear.com

販売名: Kanso サウンドプロセッサ
承認番号: 22900BZX00220000

ACE、Advance Off-Stylet、AOS、AutoNRT、Autosensitivity、Beam、Button、Carina、Cochlear、コクレア、Codacs、Contour、Contour Advance、Custom Sound、ESPrit、Freedom、Hear now. And always、Hugfit、Hybrid、inHear、Invisible Hearing、Kanso、MET、MP3000、myCochlear、NRT、Nucleus、科利耳、Off-Stylet、SmartSound、Softip、SPrint、True Wireless、楕円形のロゴ、Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium、Baha、Baha SoftWear、BCDrive、DermaLock、EveryWear、Vistafix および WindShield は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。
© Cochlear Limited 2017

D743142 ISS2
Japanese translation of D1241910 ISS1 JUL17

Cochlear®